

## 1460 | ミュゼオロジーII

4 単位（通信授業 4 単位）

金子伸二教授、杉浦幸子教授、嘉藤笑子講師、弘中智子講師、小金沢智講師

## 授業の概要と目標

「ミュゼオロジー」概念についての理解を踏まえ、博物館の経営（経営基盤、管理・運営、他機関・地域連携等）と資料（収集、整理保管、活用、調査研究等）に関する基礎的な知識を修得するとともに、美術館を中心とした国内外の博物館の具体的な諸事例を通じて、博物館における機能や事業との関連、今日の動向や課題について学修すること。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1～4

教材による学習の後、資料収集の意義に関する事例調査、収蔵資料と企画展示との関係、博物館の個性化・多様化傾向の要因、文化行政の変化と博物館の役割を考察する4点の学修報告書を課し、個々に添削指導を行う。

\* 課題については学習指導書『ミュゼオロジーII 平成29年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

## [通信授業]

- ・(教材による学習) ミュージアムと経営(組織・人材/行財政/使命・評価/施設・設備/教育)、ミュージアムと資料(理念/収集/調査・研究/整理/活用)等
- ・(学修報告と添削指導) 資料収集の意義に関する事例調査/収蔵資料と企画展示との関係についての考察/博物館の個性化・多様化傾向の要因についての考察/文化行政の変化と博物館の役割についての考察

## 成績評価の方法

レポートによる。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] 文化支援コース3年次必修科目の単位をすべて修得していること(「学生ハンドブック」p.049の特例を除く)。

[備 考] 芸術文化学科文化支援コース4年次必修科目。  
芸術文化学科文化支援コース以外の学芸員課程履修者は、学芸員課程の3年次配当科目の単位をすべて修得していれば履修できる。

## 教材等

教科書：金子伸二・杉浦幸子編『ミュゼオロジーの展開 経営論・資料論』  
(武蔵野美術大学出版局 2016年)

学習指導書：『ミュゼオロジーII 平成29年度』(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年)

## その他

現場での体験を得るために、美術館・博物館などが募集するボランティア活動などに積極的に参加することが望ましい。インターネットなどを活用し、情報を収集する。

学芸員課程履修者は、この授業科目は「博物館に関する科目」として取り扱われる。